

富山県内の企業における事例

令和4年11月8日（火）

富山県自然保護課



YKKグループの技術の総本山

ファスニング事業・AP(建材)事業と
その両事業を技術面から支える
テクノロジー・イノベーションセンターから
成る複合的な機能を持つ事業所

○ 緑地 ○ 製造拠点



Navigation controls: mouse cursor, hand icon, zoom in (+), zoom out (-), 74.1% zoom level, print icon, rotate icon, zoom reset icon, and share icon.

選定された樹木は種から育て、工場内にみんなで植樹

2006年～ 苗木育成

地元の山地から種子を採取し、苗木を育成



2008年～2012年 植樹

従業員やその家族、地域住民などの協力を得て植樹



現在 生態系の形成

約6,000本の樹木が成長し、樹高7mの木も。色々な生き物が住む森に。



【ホンドタヌキ】



【キジ】



【チョウゲンボウ】



【オオヨシキリ】

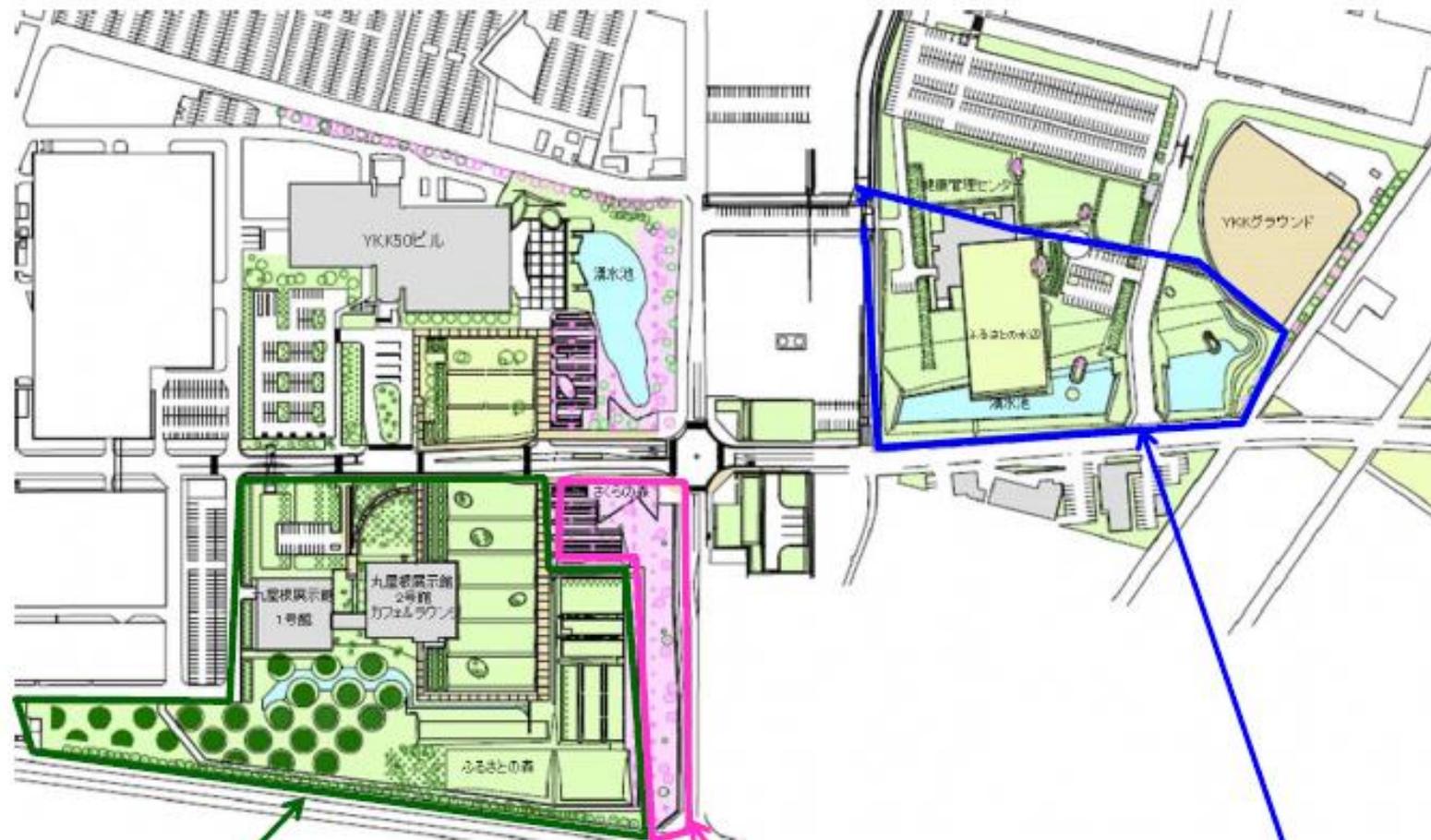


【トミヨ】



【冬に飛来するカモ類】

参加者：1,346名 植樹本数：約20,000本



ふるさとの森

黒部川扇状地の潜在植生である
シラカシ、クルミ、ツバキなど

20種類、約2万本を植樹

さくらの森

黒部に由来する桜の自生種である
ヤマザクラやエドヒガンなど

14種180本を植樹

ふるさとの水辺

湿性植物であるガマ、ショウブなど

21種125本を植樹

※ドジョウ、フナ、トミヨをはじめとする
生物を放流

黒部川扇状地の潜在植生から選定して植樹

ふるさとの森



【ウラジログシ】
葉の裏が白いことから名づけられた。400m以上に生息するが、黒部川扇状地では100m以下でも自生する。



【タブノキ】
各地の神社の「鎮守の森」によく大木として育っている。



【スダジイ】
果実は食用となり、木材は木炭やシイタケ栽培に用いられる。



【コナラ】
雑木林の代表的な木。ミズナラと並んで、どんぐりの木としても知られる。



【ヤブツバキ】
黒部事業所の地元「村椿」はヤブツバキが群生していたことから名づけられた。



【オニグルミ】
種子はクルミとして食用にされ、殻はスタッドレスタイヤにも利用されている。



【クロクワイ】
湿地に成育し、クワイに似た小さな黒い塊をつけることから名がついた。



【シラカシ】
木材が白いことから名づけられた。一方、樹皮が黒いことから「クロカシ」の別名を持つ。

さくらの森



【エドヒガン】
彼岸頃に花を咲かせることからこの名前がついた。サクラの中では長寿の種である。



【ヤマザクラ】
幹の直径は1mを超えるまで生長し、サクラの間では巨樹となり長寿な種である。

ふるさとの水辺



【ガマ】
多年草で、池や沼に分布し、水の中に地下茎を伸ばして成長する。茎の先に円柱型の花穂をつける。

工場、草が含まれている画像

自動的に生成された説明

菖蒲湯や漢方として使われる。花を咲かせる「ハナショウブ」とは全く別の植物。



【目的】 森の成長に伴いどのような生物が集まっているか、専門家による定期的な調査を行い、生物相の変化を把握するため

【調査対象】 ※2011年より実施

調査生物： 鳥類、昆虫類、魚類、底生動物、哺乳類（2015年～）
爬虫類（2019年～）、両生類（2019年～）

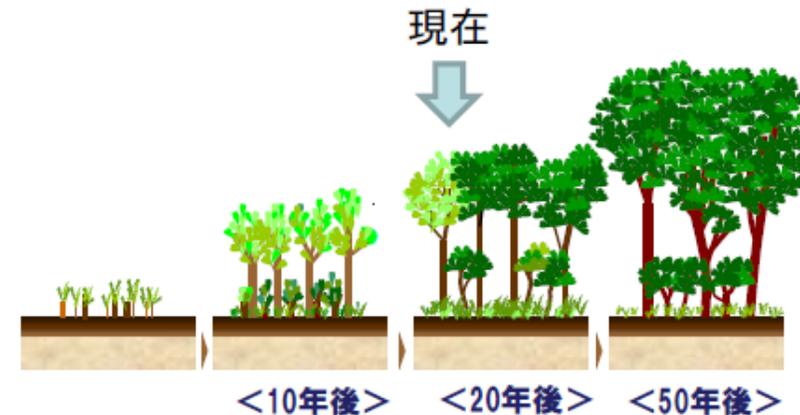
調査回数： 1回／4年

調査時期： 春、夏、秋、冬



【調査結果】

	2011年	2015年	2019年
鳥類	40種	40種	58種
昆虫類	171種	210種	216種
魚類	5種	7種	7種
底生動物	21種	24種	28種
哺乳類		6種	5種
爬虫類			1種
両生類			3種
合計	237種	287種	318種
希少種	8種	16種	26種



森が大きくなるにつれ、様々な生物が集まり、関わり合っている

鳥類



サシバ



オオタカ



ミコアイサ



コチドリ

哺乳類



ホンドキツネ



ホンドタヌキ



ハクビシ



ニホンアナグマ

昆虫類



ミヤマアカネ



カブトムシ



キアゲハ

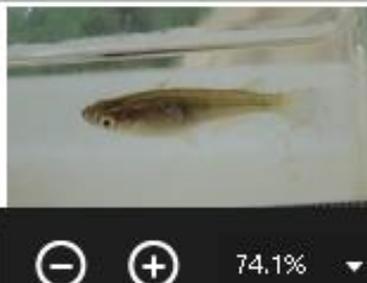


ツクツクボウシ

魚類



トミヨ



草, 屋外, 人, フィールドが含まれている画像
自動的に生成された説明



キゴリ

Navigation bar with icons for back, home, zoom in, zoom out, 74.1% zoom level, search, and share.

絶滅が危惧される動物が**26種**見つかっています (2019年度調査結果)
 ※前回調査時(2015年度)から10種増加

	種名	環境省RL ^{※1)}	富山県RDB ^{※2)}	新 ^{※3)}		種名	環境省RL ^{※1)}	富山県RDB ^{※2)}	新 ^{※3)}
鳥類	ハヤブサ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類		魚類	キタノメダカ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧	
	サシバ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅰ類	○		トミヨ属淡水型	地域個体群	絶滅危惧Ⅱ類	
	オオタカ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	○		ドジョウ	準絶滅危惧	準絶滅危惧	
	ミサゴ	準絶滅危惧	準絶滅危惧		昆虫類	マイコアカネ		絶滅危惧Ⅱ類	
	ケリ	情報不足	準絶滅危惧	○		ミヤマアカネ		準絶滅危惧	
	オオムシクイ	情報不足		○		アキアカネ		情報不足	
	カワセミ		準絶滅危惧			ナツアカネ		情報不足	
	イソシギ		準絶滅危惧			クマスズムシ		情報不足	
	ミコアイサ		準絶滅危惧	○		ウシカメムシ		準絶滅危惧	○
	コチドリ		準絶滅危惧	○		モンズメバチ	情報不足		○
コサメビタキ		準絶滅危惧	○	底生動物		モノアライガイ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	
両生類	トノサマガエル	準絶滅危惧	準絶滅危惧		○	マルタニシ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	
						クビボソコガシ ラミズムシ	情報不足		
					コガムシ	情報不足	情報不足		



イソシギ



トミヨ属淡水型



マイコアカネ

※1) 環境省RL…「環境省レッドリスト2020」(環境省、2020年)
 ※2) 富山県RDB…「富山県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックとやま2012」(富山県、2012年)
 ※3) 2019年度の調査で新たに観察された種

【夜の昆虫観察会】

小学生を対象に、夜の森を観察し、普段見ない姿から自然や生き物に興味を持ってもらうイベント



ふるさとの森で白布を張り、集まった昆虫を観察



夜の森の中を探検

【科学館まつり】

子どもたちを対象に、科学・工作や黒部の自然に親んでもらうイベント



ふるさとの森探検ツアー



わくわくスタンプラリー

【ふるさとの森探検学習】

小学生を対象に、ふるさとの森を探検マップを持って観察。また森の役割をレクチャーし、自然や生き物に興味を持ってもらうイベント



森の中を探検



探検マップを見ながらビンゴに挑戦

【生物多様性に関する世界の条約】

1992年 国連環境開発会議(地球サミット) **生物多様性条約**(気候変動枠組条約とともに「双子の条約」)

2010年 愛知目標(2015, 2020年を目標年次とするグローバル目標) ⇒ 未達成で終了

2022年 **COP15 ポスト2020生物多様性枠組み**(2030年までのグローバル目標) **12月採択予定**

↳ “**30 by 30**”(2030年までに陸と海の**30%**以上を保全する目標)が含まれる

【“30 by 30”達成に向けて】

*OECM : Other Effective area-based Conservation Measures

民間企業等の取組みによる**生物多様性の保全エリアを保護地域(OECM)**として認定する制度を検討

日本国内では環境省が主体となり自然共生サイト(国内での仮称)の認定制度を整備中

《YKKでの取組み》

- ✓ 2022年8月 日本国内でのOECM推進を目的とした30 by 30アライアンスへ参加
YKKセンターパークふるさとの森の認定を目指す
- ✓ 2022年9月 自然共生サイト(仮称)試行事業(後期)へ参加し、制度作りに協力



【COP15に向けた企業声明】

国際的な機関13団体で構成される「Business for Nature」がCOP15(国連生物多様性条約(CBD))

第15回締約国会議)に向け、**企業が生物多様性の影響や依存度を評価し、2030年までの開示義務化**を要請する声明(COP15 Business Statement for Mandatory Assessment and Disclosure)への署名に呼びかけ

《YKKでの取組み》

- ✓ 2022年10月 企業声明への署名(行動宣言と情報開示の実施)